

天地悠久

創立100周年記念号



昨年の総会に出席された恩師、役員と幹事学年の皆さん

平成30年度 西高同窓会総会のご案内

- 1 日 時 **8月4日(土) 午後2時から**
- 2 会 場 西尾市吉良町宮崎 三河湾リゾートリンクス
- 3 幹事学年 高校31回生 (昭和54年3月卒)
- 4 次 第 14:00 総会
15:00 記念講演「産婦人科医という生き方」
杉浦真弓氏 (31回生)
名古屋市立大学大学院
医学研究科産婦人科教授
名古屋市立大学不育研究センター長
15:40 記念写真
16:00 懇親会 (会費5,000円)

- ・名鉄吉良吉田駅から送迎バスあり (12:30、13:00、13:30発)。
- ・西尾蒲郡線存続のために、できるだけ電車をご利用ください。
- ・幹事学年以外で参加希望の方は、同窓会事務局長(新家正之教諭)へ
TEL0563-57-2270 FAX0563-54-6963
高女卒、旧制中学卒の方は無料でご招待いたします。

通用門門柱 (旧正門) が国登録 有形文化財として登録されました

会員の皆様の記憶に残る本校の通用門門柱 (旧愛知県西尾中学校正門) が、平成29年6月28日に国登録有形文化財 (建造物) として文化財登録原簿に登録されました。

10月13日に登録証、登録有形文化財銘板 (銅板) 等が学校に届き、平成30年3月6日に銘板を右側門柱脇の石垣に埋め込みました。

ご来校の折にはぜひご覧ください。



題字「天地悠久」は、昭和47年卒 稲吉輝代(香峰)さんによるものです。

● 創立100周年を迎えて ●

同窓会長 杉田明弘
(昭和45年卒)



同窓会員の皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のことと推察申し上げます。また日頃は同窓会活動にご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。

さて、度々のご案内の通り西尾高校は大正7年西尾町立高等女学校として創立し、今年で満100年を迎えることができました。以来三河南部の中心校かつ伝統校の誇りをもちつつ学問と文化、スポーツに活躍してまいりました。

すでに卒業生も3万2千人余となり、多くの方が日本や世界の各分野で活躍されておられます。そのうちの主な同窓生を校内本館1階でパネル展示にて紹介させていただいております。

さて、同窓会といたしましては、平成26年に100周年記念実行委員会を立ち上げ、今秋10月27日(土)に校内体育館にて式典の開催を決め、併せて以下のとおり記念事業も着々と催行いたしております。

- (1) 「西高の歴史へ」と題し100年の歴史をまとめ記念誌の発刊をいたします(10月刊行予定)。
- (2) 「西高の今へ」の記念事業には生徒の長年の念願でございましたグラウンドを一周する700mのランニングコースの設置と緑地帯の整備を行いました。すでに完成し、生徒は緑の中で安全にトレーニングに励んでいます。
- (3) 「西高の未来へ」として全国で3校目、愛知県では初の公益財団法人県立西尾高等学校同窓会奨学財団を設立し、この4月1日に正式に認定され、本年6月より運用が開始されました。

これは在校生徒への修学支援や卒業生をも含めた海外留学、学問研究を応援するものです。公益でございますので皆様からのご寄付に税金の控除や法人の場合は損金扱いが容易となり有効な支援がなされます。詳しくは、同封されている趣意書をご覧ください。

何卒、100周年の同窓会の主旨をご理解いただき皆様よりのご芳志で将来を担う生徒、若者のためにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 着任のごあいさつ ●

校長 平井博司
(昭和53年卒)



本年度、西尾高校に着任させていただきますことになりました。母校に勤務できることに感謝するとともに、100周年に向けての重責を感じ、身の引き締まる思いでいます。赴任して早々多くの先輩方から励ましのお言葉をいただき、改めて同窓の皆様

の強い母校愛を感じているところでございます。スローガンである「悠久の未来へ～ここから始まる新たな伝統～」を胸に生徒も職員もますます気持ちが高まってきているところであり、準備も着々と進められています。

さて、昨年度は進学実績が上がり、東大合格3名(現役2名)、国公立大学合格者も233名(現役184名)という結果を残しました。また、部活動も陸上競技、サッカー、剣道、体操、弓道、柔道、バスケットボール、バドミントン、ソフトテニス、水泳、卓球部が県大会に出場しており、登山部が東海大会に、陸上部とダンス部が全国大会に出場しました。サッカー部においては、愛知県1部リーグへと昇格を果たし、各部ともますます元気に取り組んでいます。

生徒たちは、まさに文武両道を貫く校風を受け継いでくれています。これは、杉田同窓会長様をはじめとした同窓会の皆様方の力強い後押しあってのことと認識をしています。

今年、100周年を迎えるにあたり、諸先輩方に本校の現況を見ていただき、ご指導をいただければと思います。

この先においても「甘えなき文武両道」をモットーに地域から愛され、活力ある西尾高校であり続けますので、ご支援の程よろしくお願いいたします。皆様方のご健勝、ご活躍を祈念し、着任のご挨拶とさせていただきます。



ランニングコース
(グラウンド東側)

100周年特集

三代西高ファミリー

— それぞれの青春 —

創立100周年を迎えた西尾高校。三代にわたって西高同窓生である飯田さんご一家にお話を伺いました。各々の卒業アルバムを開いてお話しくささいました。

○飯田晃三さん(2回生)、良子さん(4回生)ご夫妻

○飯田哲司さん(25回生)、純子さん(25回生)ご夫妻

○飯田俊晃さん(52回生)

☆どんな学校生活でしたか。

晃三：僕は旧制の西尾中学に入学して、戦後の昭和25年に新制の西尾高校を卒業したんだ。戦後の混乱で旧制中学5年で卒業もできたし、僕のようにもう1年余分に行って新制高校を卒業もできた。

中学に入って1年くらいはまともに勉強できた。

2年からは矢作古川の堤防を作りに行ったり、吉田にある塩田で塩づくりをしたりした。だから桜町にあった学校には行ったことがなかった。戦争が終わるまでは男子校。それから共学になって、1クラスに女子が5名くらいずつ入った。終戦後、ようやくまともに授業ができるようになった。

良子：私は西高を受けて西高に入った。ところが私の入った年だけ、1年生の女子の半分は西実(現鶴城丘高校)に通って、西実の先生の授業を受けた。半年交替だった。運動会も西実でやったことがある。

晃三：中学時代は軍事教練で、朝礼が終わると木銃を担いで学校を一周した。

哲司：僕たちの学年は20組くらい、同級生同士で結婚した。1割はくっついたということですね。

晃三：僕たちの時は、同級生同士って聞いたことがないなあ。

良子：結婚はしなくても付き合っている人たちはいたわ。

俊晃：同級生、後輩と…結構あったね。

☆修学旅行はどうでしたか。

晃三：僕らは3年の時、東京と伊豆大島。東京ではガスで湯を沸かしていた。西尾は練炭だったから驚いた。

良子：私たちの時は3コースあって、クラス単位でなくて個人で選べた。東京、江ノ島、鎌倉コースが1クラス。日光が2クラス。私は江ノ島、熱海、久能山を選んだ。お米を持って行って旅館で炊いてもらった。

哲司：それまでは広島だったのに、僕らの時は信州。信州は2年間だけだった。前半に行ったクラスはよかったけれど、後半は白根火山も何も霧で見えなかった。

俊晃：山口、四国へ行った。金比羅さんに行った。製麺の体験もしたなあ。

☆部活動について教えてください。

晃三：終戦と同時に柔道部は廃止。弓道部もすぐ廃止。それで野球部に入った。その頃は1年先輩が強くてオール三河で優勝した。

良子：私も運動が好きだったので、選手ではなかったけれ



どバレー部だった。1年のとき、西高は強くて、男子バレー部は国体に行ったの。

哲司：僕はブラスバンド部。トランペットをやった。先生はまず出てこない。生徒の自主性を大切にして自分でやれってことだった。

純子：私もブラスバンド部。私たちの時、野球部が強くて、1年の時は県でベスト8、2年生の時はベスト4まで行った。ブラスバンドはいつも応援に行っていた。

俊晃：放送部だった。西高祭の時はバンドをやったなあ。

純子：お義父さんのアルバムにも西高祭が載ってる。

哲司：お母さんの時も西高祭ってアルバムにある。体育祭、文化祭ってあるからこの時からあったんだね。

純子：2年生の時から体育祭で西高音頭が始まった。女子が浴衣を着て踊る、時には男子が入ったりして。

俊晃：マスコットは作ったなあ、もうファイアストームはなかったから燃やせなかったけど。その代わり、後夜祭はやったね。

☆先生のことについて思い出はありますか。

晃三：厳しい先生もいたね、教室に竹刀があって、あれで生徒の頭をポンポンとね。

哲司：西高の先生は個性豊かで、中学に比べると進学校といいながら先生も生徒もみんな自由だった。西高が長かった先生がたくさんいたね。だから先輩や後輩としゃべっていると共通の名前が出てくる。

俊晃：時代が違うかな。僕らの時は、ほぼ進学100%。進学指導しかなかったような気がする。

純子：その中でもあなたは自由にやってたけどね。

☆これからの西高に望むことを教えてください。

哲司：西尾に住んでいると、西高の同窓生っていうだけで、そうかとみんなと話が合う。親近感が生まれる。そういうことが続いていったらいいと思う。

純子：文武両道を大切にしてほしい。自由な校風を大事にしながら、勉強だけとか部活だけとかに傾くのではなく、全体としてバランスのよい子が育つといいな。

俊晃：西高はいい高校というイメージだ。それなりに偏差値も高く、校則もゆるい。イメージだけでなく、行ってよかったと思えるようになってほしい。僕の同級生にも我が子を西高に通わせたいと言っている人が多いからね。

会員からのたより

西尾市今川町 三矢克之 (H2年卒)

現在、子供の頃から関わっていた陸上競技との縁から、西尾市の小学生陸上教室のお手伝いをしています。中学生の部活動指導とは違う楽しさがあり、小学生と素直に運動を楽しんでいます。西尾市在住で小学生のお子様がいらっしゃったら、いかがですか。お勧めです。

蒲郡市清田町 井澤和史 (H5年卒)

県立高等学校教諭として教鞭を執っています。先日、マスターズ甲子園出場を目指して、母校のグラウンドに行きました。いくつになっても青春時代を思い出させてくれる母校に感謝です。「現役野球部員より先に甲子園へ！」を合言葉に、熱い仲間たちと汗を流しています。

西尾市新在家町 高瀬良秋 (S43年卒)

高校時代、私には還暦はないと思っていたが、来年は古希である。今でははがきに写真と文を綴ったフォト手紙を作成、友人に配布・送信している。その数500枚以上。またギターとハーモニカホルダーを首にイベント等で演奏していて、プラス思考で脳活性をしている。

西尾市吉良町 鈴木(山中)信義 (旧中S18年卒)

勤めを終えてから陶芸造りを学び、30年余りになります。平成3年から自宅の納屋に窯を置いて、プロパンガスで焼くようにしました。作品は友人・知人の生活用具として使われていることでしょうか。平成2年から文化協会の行事に参画し、世間が広くなったことが最大の喜びです。

名古屋市中区 永島(加藤)早紀 (H21年卒)

大学卒業後、金融関係の仕事をしています。営業を担当しており、忙しい毎日ですが、西尾高校時代に出会った友人と今でも定期的に会い、近況報告し合うことが私の元気の源になっています。西尾高校時代に築いた縁を今後も大切にして、仕事に励んでいこうと思います。

西尾市山下町 神田 葵 (H15年卒)

誰かの心にそっと寄り添う表現や芸術のあり方を“まる”を礎に、唄うこと描くことを駆使して追求しています。武器のかわりに、心が和む形の“まる”、和心を世界へ広め届けことが私の志す命の削り方です。私自身とご縁ある大切な人達を愛する人生を選びつづけます。

西尾市米津町 鈴木康夫 (S47年卒)

高校時代は、野球部に所属し楽しい3年間を過ごしました。3年の夏の大会は成績も大変良く、先輩達からの食事の差し入れを大変楽しみにしていた思い出があります。今ではその食事もお酒に変わり、仲の良い友達との夕べが楽しみになっている今日この頃です。

岡崎市中島町 阿部信一郎 (H3年卒)

Uターン就職後、2002年に結婚し、妻・中1・小5の娘と実家の岡崎で質素に暮らしています。新卒入社以来ずっと物流会社のSE。甘いものが好きが高じてカフェ巡りが大好き。珈琲とケーキ漬けの毎日。夢は妻とフィンランドで美味しい珈琲を飲むことです。実現させたいな！

西尾市江原町 和田 昭 (S49年卒)

高校卒業から44年、歯科医院を開業して34年が経ちました。後継者である娘の帰還を機に、人生最後の大役として、衛生士学校の校長に就任しました。教育者としての飴と鞭の使い分けに苦慮するにつれ、やんちゃだった私を導いてくれた西高時代の先生方に感謝しています。

碧南市二本木町 杉浦正人 (S57年卒)

三方よしの精神で箱屋を生業にしています。厳しい外部環境の変化に奮闘しながら異業種交流の仲間と学びや気づきを得ながらたまにゴルフで息抜き。ふと思い出すのは西高の自由な校風と茶畑の香りと矢作川の強烈な向風。

静岡県浜松市 中根才香 (H17年卒)

高校を卒業して12年となり、気づけば干支もひとまわり。広告関連の仕事につき全国各地への転勤も多く、部下の指導をする立場になりました。そんな中思い出するのは、陸上部や西高祭でのチーム経験や、勉強の中で学んだ継続の力。学生時代の経験が自身の礎になっていると感じ、今も変わらずに続いている西高を誇りに思います！

碧南市沢渡町 長田幹広 (S43年卒)

登山部を卒業して、国内だけでなく海外の山を登ってきました。退職後は庭木の剪定と木工を勉強し、お客様に喜ばれています。東北大震災の直後から、ボランティアとして石巻市立浜の漁村の復興を応援しています。5月には祭礼のお手伝いに仲間と再訪します。

西尾市上道目記町 名倉弘雄 (S39年卒)

美術教師として教壇に立ちながら、自ら制作も続けてきました。大学では油絵を専攻しましたが、39歳の時

に日本画に転向、一大決心でした。その後、日本画家として活動し、5年前からフランス、モナコ（3回）、スペイン（3回）、ドイツ、台湾など海外での作品発表をライフワークとして取り組んでいます。

※名倉さんは、2018年5月に第65回記念日府展で最高賞の「日府賞」を受賞されました。

東京都荒川区 原田大資（H14年卒）

就職を機に東京に出てきました。高校時代に漠然と、将来はマスコミの仕事をしたいという思いを抱き、大学時代は4年間テレビ局でアルバイト。今は某通信社で勤務しております。今回、たよりに書く機会をいただき、改めて高校時代と今の“つながり”を感じています。

西尾市平坂町 神谷俊道（S45年卒）

父が起こした鉄工所の経営に携わっています。器不足なので、若い時よりも苦労しています。折しも、27、28年度には、工場、住居があるこの地区の区長を受けたので、知力、体力、徳力（？）の全てが劣る者にとり、この二年間は、正に怒濤の日々でありました。

マスターズ甲子園 愛知県大会報告!!

甲子園一步及ばず、来年に期待

西尾高校野球部OB会チームは、3月に行われたマスターズ甲子園愛知県大会に参加。強豪成章高校、刈谷高校を破り、決勝に駒を進めることができました。あと1勝で甲子園、対戦相手は強豪大府高校でした。

しかし、相手は甲子園出場の経験もあり、惜しくも3対11での準優勝でした。点差ほどの実力差とは思えぬ緊迫の決勝戦でした。来年に期待しましょう。



【OB会だより】

いつもの新年会

バスケットボール部

阪部 春之（昭和50年卒）

昭和50・51年卒業15名のOB会です。大学卒業後毎年1月3日に「いつもの新年会」を38年続けています。みんなの顔を見るのが一番の目的ですが、異職種間での情報交換もでき見識も深まる場になっています。全員で当時の思い出を綴ります。読んでください。

今も関係が続く良き同輩後輩（伊藤）。卒業後も近況を語り合える幸せ（内田）。どうしてあんなに練習が嫌だったんだろう？タイムマシンで40年前の自分を叱りつけてやりたい（黒部）。8kmの自転車通学、汗臭い部屋、早弁、昼休みのシュート練習、汗だくの5時間目、好きな女子（阪部）。練習も試合も奇々怪々で支離滅裂な思い出（杉山）。新年会は今はボールのようなお腹と頭になった仲間と青春時代に戻れる時間（都築）。練習で脳震盪。記憶が飛んだ。その晩市民病院に入院。試合中足首を脱臼。選手生命を断つ（新浪）。早朝練習や夏の厳しい練習。でも一番は互いに年を重ねてきた仲間の顔かな（信川）。病気をしてスポーツができなくなった

今、バスケットで走り回っていたあの頃が懐かしい（岡田）。張り切って元気に前へ！前へ！走れ！走れ！そんなプレイスタイルが、私の人生の根幹（三矢）。愉快的先輩や仲間（薦田）。伊与田先輩の日体式の新しい練習方法は楽しかった（徳倉）。蒸し風呂のような夏の体育館、湧き出るように流れる汗。快感ですらあった（杉浦）。夏休みの一日練習。へっへっでみんなで食べた差し入れのうなぎとスイカ、美味しかった！県大会で淑徳高校にポロポロに負けてポロポロ泣いた（戸井）。現役の時、新人戦で安城学園に勝利。奇跡の西三優勝！そして、教員生活最後で男バスの顧問に。新人戦西三4位！幸せな縁に感謝（三浦）。



平成30年1月の「いつもの新年会」

部活動報告 [平成29年度]

◆全国大会出場◆

全国高等学校総合体育大会 (山形県)

【陸上部】 男子200m 川端 功輝
 男子4×100mR 準決勝進出
 (三浦李矩、川端功輝、為悟、後藤直哉)

その他の大会

【ダンス部】
 平成29年度全国高等学校ダンスドリル冬季大会 出場

◆東海大会以上出場◆

東海高等学校総合体育大会

【陸上部】 男子100m 準決勝進出 為 悟
 男子4×100mR 4位
 (三浦李矩、川端功輝、為悟、後藤直哉)
 男子200m 5位 川端 功輝
 【登山部】 女子 出場

その他の大会

【卓球部】

中部日本卓球選手権大会 本戦出場 尾鍋 友毅
 第57回東海卓球選手権大会
 ジュニアシングルの部 本戦出場 尾鍋 友毅

◆その他の顕著な成績◆

【サッカー部】 愛知県2部リーグ 9勝5敗4分
 3位で愛知県1部リーグ昇格

【バドミントン部】

愛知県学年別大会 (1年) 男子ダブルス 2位
 吉田翔太・吉田涼太郎

※愛知県高等学校総合体育大会県大会出場

【陸上部】【サッカー部】【バスケットボール部男子】
 【体操部】【ソフトテニス部男子】【卓球部】【水泳部】
 【バドミントン部男子】【剣道部】【柔道部】【弓道部】
 【登山部】

※愛知県高等学校新人体育大会県大会出場

【剣道部】【サッカー部】【バドミントン部男子】
 【体操部】【水泳部】【卓球部】【ソフトテニス部男子】
 【バスケットボール部男子】【登山部】

〔活躍同窓生〕

本田 敦 さん (30回生)



東海旅客鉄道株式会社 (JR東海)
 執行役員

今回は、2027年に開業を目指すリニア中央新幹線に深く携わっていらっしゃる本田敦さんにお話を伺いました。

品川～名古屋間が40分程度で結ばれば、ビジネス、観光はもと

より、通勤、レジャーなど各方面から交流が促され、経済効果も期待されています。

★本田さんの西高時代の思い出をお聞かせください。

文化祭体育祭が一番の思い出です。3年生の時は、団長に選ばれ、応援団、オリジナリティ、マスコットのすべてに携わりました。級友たちの自宅に夜集まったりして、1か月くらいの間、準備に明け暮れました。祭りの最後にクラスの仲間が胴上げしてくれたのが嬉しかったです。

★本田さんがJRに入社された動機をお聞かせください。

大学卒業後、建設会社に就職し、本社の設計部門で現場の支援業務などに従事していました。現場の仮設構造

物の設計とか、技術的なトラブルの解決策を考えると
 いった仕事で、それはそれで充実していて面白かったです。
 一方で、インフラの計画を自ら作り上げていくような
 仕事もしてみたいな、とは思っていました。そんな
 時、国鉄からJRが誕生した翌年早々、JR東海の中途採用
 の募集広告を新聞で偶然目にしました。一緒にリニア
 をやりませんか、といった内容でしたが、前々からリニア
 にも興味があったので、応募した、というのがきっかけです。

★2027年開業を目指すリニア事業にどのように関わっていらっしゃいますか。

JRに入社以降、リニアの関係には延べ17年間携わっています。平成元年から6年間、リニアが走行するガイドウェイなどの技術開発や、山梨リニア実験線の先行区間18.4kmの建設に従事し、平成17年から3年間は、実験線を全線の42.8kmに延伸するための計画業務に携わりました。その後、平成22年から現在まで、超電導リニアによる中央新幹線プロジェクトを担当しています。中央新幹線では、環境影響評価や工事実施計画、関係省庁や沿線自治体との協議、地元への事業説明など、事業を推進するための業務全般にわたって、社内の各々の担当部署と調整して計画や方針を策定する仕事に就いています。

★西尾高校及び西高生へのメッセージをお願いします。

100年の伝統ある母校を誇りに思っています。高校時代の友人は宝であり、打ち込んだ部活や勉強は必ずや自らの糧になります。在校生の皆さんには、青春の貴重な日々を大切に過ごしてほしいと思います。

平成30年度入試概況

進路指導主事 加古邦博

平成30年度入試を振り返って

平成30年度大学入試センター試験は、1月13日(土)、14日(日)両日に実施されました。本校は356名が愛知教育大学と愛教大附属高校の二会場で受験しました。大学入試センターの発表によれば、志願者は58万2671人で前年度より6704人増加しました。これは、全国的な「国公立志向」と、後述する定員厳格化に伴う私立大学の難化から、センター利用入試を積極的に利用しようとする受験生が増加したことが原因として考えられます。全体の平均点は文系556点(前年差+9点)、理系562点(前年差-2点)で、総じて昨年並みと言えます。教科別に見ると、50点満点の英語リスニングが前年より5.4点減で、配点の1割以上の大幅ダウンとなりました。また、理科・地歴においては、選択科目間で平均点の大きな違いは見られなかったため、平均点調整は実施されませんでした(データはベネッセ発表による)。文系の高い人気が昨年から続いており、特に経済、経営、商学部と国際系の学部の出願者数が増加しています。一

方、理系では、人工知能への注目が集まる情報工学の分野に志願者の増加が見られました。

昨年度から顕著な傾向となって現れてきている「極端な地元志向、安全志向」は、全国的に広まってきており、本校も例外ではありません。東京大3名、京大1名、名古屋大30名をはじめ、東北大1名、大阪大1名、九州大2名、神戸大2名など、全国の難関大学に挑戦し、よく健闘しましたが、もう一つレベルの高い大学への受験を避け、強い安全志向から、地元の確実に合格を狙える大学への出願も多く見られました。また、定員厳格化に伴う合格者の絞り込みで、人気の高い上位私立大学では難化の傾向が見られ、今まで本校が多数合格していた大学においても苦戦を強いられました。そのような状況の中でも、第1志望を譲らず来年再挑戦する生徒もたくさん残りました。いわゆる浪人生活は辛いものですが、きっと夢を叶えてくれることであろうと期待しています。



29・30年度大学別合格者数



国公立大学 大学名	30年度		29年度
	新卒	旧卒	
北海道			1
室蘭工業		1	
弘前			1
岩手		1	
東北	1		
秋田	1		
宇都宮			1
埼玉			1
千葉	1	1	4
東京	2	1	
東京外国語			1
東京学芸		1	1
東京工業		1	
東京海洋	1		
東京農工	1		1
横浜国立		3	2
富山	4		
金沢	5	1	3
福井	10	3	9
山梨	1		
信州	3		4
静岡	18	2	13
愛知教育	18	1	19
名古屋	20	10	21
名古屋工業	15	5	4
岐阜	26	5	13
三重	3	2	9
滋賀	1		2
京都	1		3
大阪		1	1
神戸	2		4
兵庫教育		1	
奈良女子	2		1

和歌山	1		1
岡山		1	
広島	3	2	1
山口	1		
徳島	1		
高知	2		1
九州	1	1	
大分		1	1
宮崎		1	
琉球	1		
国立大学合計	146	46	123
秋田県立	1		
高崎経済	4		2
首都大学東京			1
横浜市立	1		
富山県立	2		1
石川県立			1
福井県立			5
都留文科			1
山梨県立			1
長野	2		
静岡県立	4		1
静岡文化芸術	2		1
愛知県立	6		5
愛知県立芸術	1		
名古屋市立	7	1	8
三重県立看護	1		1
滋賀県立	1		1
京都府立			1
福知山公立	1		
大阪市立			2
大阪府立	1		2
兵庫県立	2	1	
尾道市立	1		
広島市立		1	
高知工科	1		
北九州市立			1

宮崎県立看護			1
公立大学合計	38	3	36
国公立大学合計	184	49	159

私立大学 大学名	30年度		29年度
	新卒	旧卒	
青山学院		1	2
慶應義塾		1	1
中央	4	3	7
東京理科	3	13	7
法政		4	
明治	1	10	6
立教	1		
早稲田	1		5
愛知	129	4	83
愛知学院	24	1	25
愛知医科	2		4
愛知工業	52	9	29
愛知淑徳	52	3	39
金城学院	29		23
椋山学園	59	7	30
中京	66	1	71
中部	27	3	18
豊田工業	6	7	2
藤田保健衛生	46	4	44
南山	70	4	113
名城	100	36	99
同志社	17	14	21
立命館	33	11	43
関西西		8	6
関西学院		2	4
その他の私立大学	172	40	137
私立大学合計	894	186	819

－ 創立100周年記念 －

ホームカミングデーを開催

同窓生の皆様はぜひ母校にお越しください。

10月27日(土) 午後2時～4時

- ランニングコースの見学・体験
- 「詩人 茨木のり子の世界」詩の朗読と語り
- 縄跳びパフォーマンス (61回生 黒野寛馬さん) による実演

※詳細は本校あるいは同窓会HPをご覧ください

「創立100周年記念体感ウォーク」

12月20日(木)に第10回名鉄西尾・蒲郡線体感ウォークを実施します。今年は創立100周年を記念して同窓生の方にも参加を募ります。生徒と一緒に西蒲線の存続をアピールしませんか。参加を希望される方(先着50名)は、10月31日までに必要事項(住所・氏名・電話番号・卒業年または卒業回生・希望されるスタート時刻)をご記入の上、必ず往復はがきにてご応募ください。詳細は本校あるいは同窓会HPをご覧ください。

応募先 〒445-0803 西尾市桜町奥新田2-2

西尾高校保健体育科 体感ウォーク担当 新家正之 宛

関東西中西高会
からのお知らせ

昨年11月5日、関東西中西高会総会において今後の会のあり方を検討した結果、西高100周年記念事業を機に支部組織としての役割を閉じ、同窓が気楽に集える懇親会に衣替えすることとなりました。

1. これまで会が積立ててきたお金は、西高100周年記念事業「奨学財団」に全額寄付する。
2. 同窓会支部としての活動は幕を閉じ、同窓懇親会に衣替えする。したがって、『会報』の発行や年会費の徴収は行わず、懇親会ごとに参加者の自己負担で今後は維持していく。

リニューアルされた関東西中西高会は、今年度早々の4月1日、播磨坂での観桜会から活動を再開しました。

お知らせ

「知性と感性を磨く文化講演会」について

100周年記念講演会と兼ねて、記念式典後に実施します。講師は齋藤孝氏(明治大学文学部教授)です。なお、会場の都合上、同窓生の参加募集はいたしません。ご了解ください。



「ハルコン」のご報告とご案内

3月21日(祝)に西尾市文化会館で開催しました。今回は、創立100周年を記念して十数名のOB・OG(最後列で演奏)と「交響的序曲」などを共演し、思い出に残る演奏会となりました。なお、次回は平成31年3月21日(祝)14時から同会場で開催します。

同窓会専用ホームページ

同窓会からのお知らせや会員間の情報交換の充実に目的に、一昨年の11月に同窓会専用のホームページを開設いたしました。学年や部活動同窓会の情報提供、住所変更等の事務局への連絡にも活用できます。是非、ご覧ください。

<http://nishio-h-dousoukai.jp/>

編集後記

「3代による橋の渡り初め」よろしく、飯田さんご一家3代にご自宅でお話を伺いました。それぞれの時代でそれぞれの青春があり、しかし西高という場で100年間続いた校風がそこかしこに感じられるお話でした。これからも4代・5代と続いていってほしいと思います。「会員からのたより」に投稿していただいた鈴木康夫さんが、投稿後急逝されました。ご冥福をお祈りします。

【会報編集委員会委員一同】

西高同窓会報「天地悠久」第29号

発行日 平成30年7月10日
発行 西尾高校同窓会報編集委員会
〒445-0803 西尾市桜町奥新田2-2
TEL (0563) 57-2270
発行人 同窓会長 杉田明弘
印刷所 (資)三州印刷